



写真提供  
(有)日彰スポーツ通信

# 跳べ！より高く高く高く

## 走り高跳びってカッコイイ！

お姉さんの影響で中学1年生のときに陸上競技を始めた友里さん。最初はハードルと四種競技を選択。しかし、2歳年上の先輩が大会で跳んでいるのを見て「カッコイイ」と感じ、中学2年生の夏から走り高跳びに絞って練習を始めました。

友里さんによれば「跳ぶ直前はちよつと怖いですが、浮いた瞬間が気持ちよく、跳べたときは他の競技をやっていたときよりも一番嬉しい」そう。

## その強さはどこに？

走り高跳びは体重が軽くて背の高い人が有利。しかし、友里さんは背が低い方。「どうやったら高く跳べるか自分なりに考えてフォームを工夫し、ほぼ自己流で跳んでいます」。



かわけ ゆり  
河毛 友里さん

藤中学校(3年生)陸上部所属  
平成30年8月、関東中学校陸上競技大会および全日本中学校陸上競技選手権大会に出場。  
U-15陸上競技強化選手。



実は友里さん、小学校までは運動は得意な方ではなかったとのこと。しかし、「怖がらずに、いろいろと試してやってみるタイプだった」そう。持ち前のチャレンジ精神で自分なりに研究を重ねることが成果につながっているのでしょう。

また、うまくいかないことがあっても決してあきらめず、すべてを楽しみ、「大きな大会でも小さな大会でも区別なく、どんな試合もベストを尽くす」のだといいます。

種目を走り高跳びに定めてまだ1年ほど。全国大会にまで出場できた強さはそこにありそうです。

## 次なる目標

高校でインターハイに出場することが次の目標。より高い跳躍を目指して、ベストを尽くす友里さんの今後に期待です。

## 編集後記

特集をした山崎さんに取材を申し込んだところ、「鶴ヶ島のためなら喜んで！」と快く引き受けていただきました。取材に伺った日は、雨が降り風も強く、とても寒い一日でした。挨拶を済ませると、すぐに温かいお茶を出してくれ「寒いですねー」と、にっこり。山崎さんは自分に厳しく、人にはとても優しい方でした。ご意見・ご感想は秘書広報課広報聴担当へ  
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp



“ご飯よりも遊ぶことが大好き”  
やなぎたけちゃん  
柳田潤ちゃん(1歳2か月)



## 笑顔の天使



“夏の思い出  
(笑顔は見えませんが、エンジョイ中)”  
おにしりお  
大西理央ちゃん(6歳)  
莉愛ちゃん(4歳9か月)

